



SATUDORA HOLDINGS

2017年10月12日

報道関係各位

チェーンストアと地域の未来を創る、 オープン・イノベーション・プラットフォーム Satudora Innovation Initiative (SII) 発足のお知らせ 人々の新たな「働き方」と「生活体験」をデザインする

サツドラホールディングス株式会社（本社：北海道札幌市 代表取締役社長 富山 浩樹、以下「サツドラHD」という）は下記のとおり、テクノロジーの活用によって地域の社会課題の解決のためのイノベーション創出に取り組む団体「Satudora Innovation Initiative（以下、通称「SII」という）」を発足いたします。

記

1. SIIとは

SIIは北海道においてドミナント出店を続けるドラッグストア「サツドラ」、世帯カバー率50%超、会員数150万人超/600店舗以上が加盟する、地域共通ポイントカード「EZOCA」などを保有するサツドラグループ各社と、サツドラグループが持つデータ、ノウハウ、リソースをオープン化し、その活用を望む様々な企業、スタートアップ、自治体や研究機関と共に、テクノロジーの活用によって地域の社会課題の解決のためのイノベーション創出に取り組むべく組織された団体です。

2. SII 発足の背景



欧米から日本にチェーンストアが持ち込まれ、本格的に展開し始めた昭和30年代からおよそ半世紀。これまでチェーンストアは「誰もが」「いつでも」「どこでも」「手軽に」同じ商品と同じ価格で手に入れられるようにする、という役割を果たすことで、日常生活における地域格差・経済格差をなくす事に貢献して来ました。そして今後、サツドラHDは人々の日常を支えてきたチェーンストアの役割として、IoT（モノのインターネット）とAI（人工知能）によって加速するテクノロジーの進化を背景に、地域格差・経済格差の解消に加え、「情報格差」の解消へとシフトしていくと考えております。また、現代の日本社会は、少子高齢化・人口減少をはじめとする、たくさんの大きな課題を抱えており、さらに地域社会、特に北海道は課題先進地域であり、その縮図であるといえます。

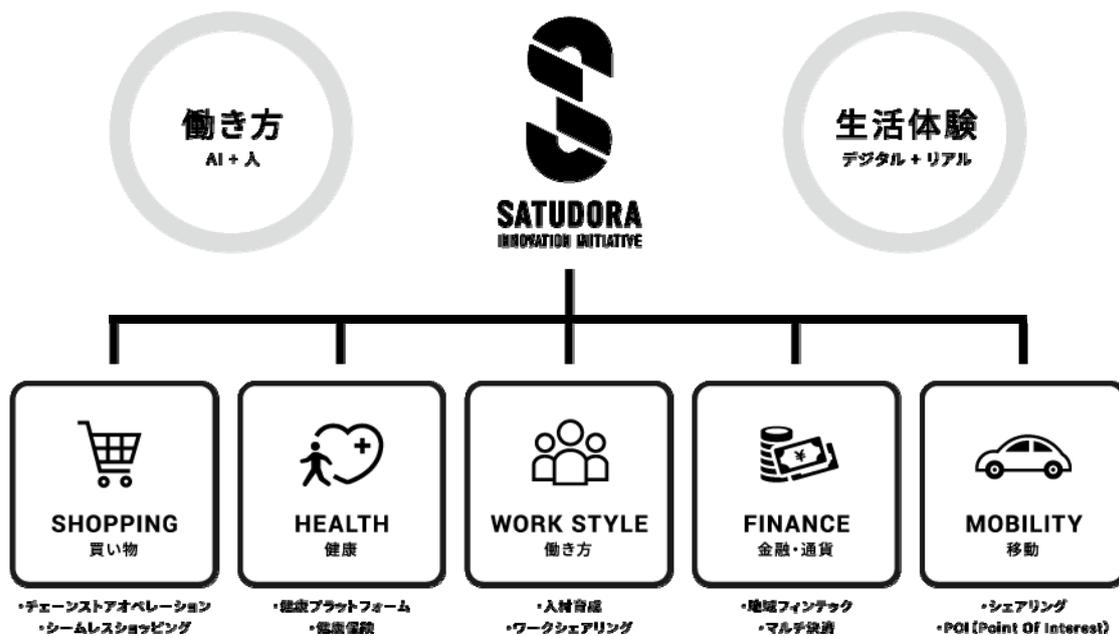
サツドラHDは、これからも率先して人々に求められるチェーンストアの役割を果たすだけでなく、同じ課題認識と使命感を持つ様々な企業、スタートアップ、自治体、研究機関とともに、テクノロジーを活用することで新たなイノベーションを起こし、地域が抱える社会課題をいち早く解決するための研究・実行団体としてSIIを発足いたしました。

3. SIIのビジョン

SIIは『人々の新たな「働き方」と「生活体験」をデザインする～スマートライフをすべての人に～』をビジョンとしております。日常という生活者視点において、地域・個人間の情報格差を解消し、年齢や環境の区別なく、同じ情報を同一の価値で届けたい、という想いととも活動してまいります。

4. SIIの研究・実行テーマ

SIIの研究・実行テーマは生活者の日常を取り巻く「買い物（消費行動）」「健康」「働き方」「金融・通貨」「移動」の5つです。各テーマについて「チェーンストア」と「地域」という単位を軸に、次のあたらしい価値やアイデアを社会に提供していきます。



5. SII 参画企業（今後順次追加予定）



AI TOKYO LAB & Co.

TOYOTA



※参考リンク

・Satudora Innovation Initiative HP

<https://sii.hokkaido.jp/>

・サツドラホールディングス、TOYOTA との「モビリティサービスの実証実験」開始のお知らせ

https://satudora-hd.co.jp/uploads/2017/10/20171012_toyotaapp.pdf

・【サツドラ】モバイク・ジャパンとパートナーシップ協定を締結

https://satudora-hd.co.jp/uploads/2017/08/20170823_mobikelaunch.pdf

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

■サツドラホールディングス株式会社

SII 事務局 杉山 h-sugiyama@satsudora.jp